



# 雄物川 上流

No.243 発行日 平成27年12月25日  
国土交通省 東北地方整備局  
湯沢河川国道事務所 十文字出張所  
〒019-0522  
横手市十文字町字西上38-3  
TEL 0182-42-0109

## 水門等水位観測員講習会が行われました

12月1日(火)、十文字出張所管内の水門等水位観測員講習会が横手市にて行われました。

この講習会は、樋管の操作技術の更なる向上と緊急時の連絡体制やトラブル発生時の対処手順等の確認を目的として行っており、毎年洪水の心配が少なくなる時期や雪解けによる河川の増水が心配される時期の前など、冬期に行っています。

今回は99名の観測員の皆さんが参加し、樋門・樋管の操作、点検方法の注意事項や説明を聞き、手持ちの資料と照らし合わせながら真剣に講習会に臨んでいました。

樋門・樋管は洪水時に重要な役割を担っています。観測員の作業は、洪水時悪天候の中での作業が主となるため、危険も伴います。観測員の皆さんが安全に対応できるよう、当出張所も今まで以上に体制を整えとともに、今後起こりうる洪水に備え、連携を強化していきたいと思ひます。

### 講習会のようす



### 水門等水位観測員とは

洪水時、増水した川の水が逆流し住宅に流れ込むのを防ぐため、堤防に設置されている樋門・樋管のゲート操作を行ったり、また緊急時に正確な操作ができるよう日常の点検を行っている方々のことです。

## ホームタンクの取扱いにはご注意を！

### 油の流出事故が多発しています！

最近、一般家庭のホームタンクや事業所のタンクから、灯油などの油類が漏れ出し、河川などに流れ出す事故が増えています。そして、その多くが人的ミスによるものです。



# 油1缶50万円!!

事故を起こすと油の回収・処理に約50万円の費用がかかってしまいます。そして、その費用は事故を起こした**原因者**が責任を持って負担しなければなりません。

### 油流出事故を防ぐための心掛け

- その場を離れない・目を離さない  
ホームタンクなどから灯油を分け出すときは絶対にその場を離れないようにしましょう。
- 屋根からの落雪や除雪時には注意を  
屋根からの落雪や除雪時に給油管破損やホース脱落に注意しましょう。
- 配管の場所には目印を  
配管の破損を防ぐために風切りをしたり、配管の場所が雪でわからなくなりに目印を立てておきましょう。
- 定期点検を怠らない  
配管やホームタンクの定期点検に努めましょう。

事故を起こした場合また発見した場合は、お近くの国や県の機関、市町村役場、消防署、警察署等へご連絡ください。

どんどんと冷え込み、暖房が欠かせない時期になりました。毎年冬期間には暖房使用に伴う油漏れ事故が発生しています。その原因として暖房器具に給油した際、ちょっと目を離してしまったり、人的ミスによる発生が大半を占めています。

皆さんひとりひとりが気をつけることで、油漏れ事故を防ぐことができます。

油の回収・処理にかかる費用(1缶18L当たり約50万円)は、油を流出した原因者が支払うこととなります！！

